

ふじやまだより

第15号
発行 2004年
3月15日
本郷
ふじやま公園
運営委員会



古民家は環境教育の教本

環境カウンセラー 平賀 眞之

近世100年間の人類の営みで、地球のもつ自浄能力を超過してきた。異常気象や地球温暖化などの自然界からのシッペ返しが手厳しい。これらの摂理を学習し、環境に対する知識を深めようとする教育が始まって久しい。それはあたかも20世紀に活動した大人たちの不始末の改善を次世代に托そうとするようにも見える。この負の遺産は、莫大な国の借金をツケ送りすることと共に、何とも心痛む問題である。

本郷ふじやま公園には、タイムカプセルを開いたような、環境公害もローン借入れもない、古民家がリニューアルされて建っている。往時の民家での生活には、やさしい自然との対話が生きていた。

(次ページに続く)

- 自給自足——全て地場の産物の活用である。
- 省エネ——イロリとカマドの暖房で燃料を里山から採る。
- リサイクル、リユースの循環型——使えるものは再利用する。
- 生長量に見合った利用——自然の回復力の限度。
- 腐食分解して土に還らないものは出さない。

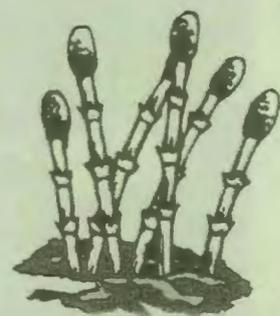
県では「新アジェンダ21 かながわ」として、30年後の長期的ビジョンを描こうとしている。その将来像は、持続可能な社会であり、風も、花や虫も、鳥たちも、みんな一緒に地球に生きる仲間としてとらえている。大量生産・大量消費を求め続けたことの弊害を直視しなければならない。利用と開発と保全のバランスを欠いてはならない。今こそ、みんなが良好な環境の中で安心して生活出来る社会の具現のために、実践行動を起こす時である。古民家が、江戸の時代から見届けてきた公害のない、おだやかな生活様式を、せめて次世代の子どもたちの教本として残したい。このお手本を踏み台にして、21世紀を担う人たちが、好ましい行動計画をたて、それがどこかしら昭和30年代の貧しくとも元気だった日本を想起させるような、世の中になってくれることを夢見ている。



部会便り

里山部会

植物観察もできる本郷ふじやま公園



里山部会 宗森 英夫

本郷ふじやま公園は、その大部分が緑地帯で、周囲を宅地で囲まれています。市が買い上げて公園にしていなかったら、住宅街になっていたでしょう。貴重な緑地帯です。かつて里山として活用されていた、自然に近い山林地域と公園として整備された造園地域とがあります。

造園地域には、この地域に庭木としてよく植えられているウメ、ボケ、サザンか、ツバキ、ナンテンヒイラギ、モクレン等があり、平地や野原で見られる春の野草としてはオオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、ノゲシ、タチツボスミレ、ハコベ、ナズナ、ハハコグサ、カタバミ、ヘビイチゴが花を咲かせています。

山林地域では、ヤブツバキ、ウグイスカグラ、オオシマザクラ、ヤマザクラ等が春の花を咲かせます。

暖かい地域なので、一年中、何かの花が咲いており、四季折々の花が楽しめます。是非、植物観察もしてみてください。

いろり守の会

いろり守り会では会員募集中です

4月のいろりの焚火の日

4月3日(土) 4月4日(日) 4月10日(土) 4月29日(祝)

入会希望の方は上記いずれかの日に公園主屋のいろり端までお出掛けください。
詳細はその際説明させていただきます。



古民家歴史部会

古民家の見てきた年中行事の概要・其の二

古民家歴史部会 木島 健司

本郷ふじやま公園にある古民家（旧小岩井家の）が見てきた行事について。

① 雛祭り

広間の神棚の下にお雛様を飾った。

② 端午の節句

鍾き様を飾り、鯉幟をたてた。

③ お月見

お団子を作って、庭の柿と栗を添えて供えた。

④ 餅つき 12月26日～27日

三軒の家が集まり7～8人と下男が3つの竈を使い、石臼で搗いた。女性たちは鏡餅や四角いお餅を作った。また、その場で食べる丸餅（大根下ろし、あんころ、黄粉を付ける）を作った。

⑤ 門松

門の両側に松と竹を一本づつ立て、注連縄を張り御幣を下げた。

⑥ 火の神様、水の神様（荒神様・水神様）

正月3ケ日お祀りした。

雛まつり

開園一周年行事の一環として、2月29日（日）雛まつりが開催されました。

旧小岩井家の雛まつりさながらに、雛壇飾りが施された主屋座敷では、箏曲演奏（小島園香氏はじめ）に次いで日本舞踊（藤の会）が演じられ、詰めかけた参加者は魅了されました。

また女性たち手作りの甘酒の販売もあり、甘い香りとお酒の酔いに誘われつつ、桃の節句らしい華やいだ雰囲気古民家が包まれました。



農芸部会

花づくり・野菜づくり・仲間づくり この一年

農芸部会 鈴木 徹郎

啓蟄が過ぎると、日一日、陽の光は輝きを増し、足踏みしていた春は生き物に躍動の季節到来を告げ駆け足でやってくる。

一年前、見知らぬ者同志の集まりだった我が農芸部会の活動の場である花壇と畑の区画は、沢山の石コロや針金など混じったゴミ、工事現場の残土捨て場みたいな硬い土は鍬を振っても砕けない、生命力旺盛な雑草さえ生えるのをためらう程の荒れ地だった。

石やゴミを除きシャベルで土を掘り起こし畑作り、花壇のレイアウトに議論百出、落ち葉を集め堆肥作り、花や野菜の種蒔きと苗の植付け、日々の管理、会員の努力と熱意に花や野菜が応えてくれた、あの荒れ地が初夏には見事な花壇と畑に変身した。

秋には豊かな稔りに感謝し収穫を喜ぶ、当初の計画になかった収穫祭まで行って達成感と連帯感を共に味わった、そして老若男女、素晴らしい仲間にも巡り逢えて貴重な財産も収穫した。

冬の間は春作業に備えて準備万端、さあ、二年目の春、本格的な活動の開始だ。

催し物 ご案内

教室名等	日時	内容	定員	参加費
七宝焼き	5月6日(木) 13時～16時	ブローチ	12名	¥600
伝統工芸 「鎌倉彫」を彫る (全4回)	5月7日、21日 6月4日、18日 各金曜日 13時～16時	7寸の角皿 を彫る	12名	¥2,700程度 (材料実費)
染色教室Bコース (全3回)	5月11日、6月8日 7月13日 各火曜日の13時～16時	草木染	12名 (多少の 経験者)	1作品あたり ¥2,000 程度
刺し子	5月19日、26日 各水曜日の13時～16時	化粧ポーチ(18cm×14cm) 巾着(20cm×20cm)	12名	¥1,800
ネイチャークラフト 遊び	5月18日(火) 10時～12時	手作りの器に季節の 花をデザイン	12名	¥2,000
里山のそば打ち塾	5月22日(土) 10時～12時		12名	¥700 (そば3人前分)
つる工芸	5月12日(水) 13時～16時	アケビつるで小さな 菓子籠を作る	15名	¥1,000 (材料費)
遊布	5月28日、6月25日 各金曜日 13時～16時	おでかけ袋と小さな 布絵	12名	¥1,500 (2回分材料費)

(1) 定員 : 応募者多数時抽選

(2) 応募要領 : 往復ハガキに、教室名、氏名(ふりがな)、〒、住所、電話番号を書いて
本郷ふじやま公園へ 期限いずれも4月30日(金)必着

お知らせ

- ・休館日 : 4月7日(水)
- ・クリーンアップ作業日 : 4月6日(火)

◎ 臨時休園日・・古民家の補修工事のため、4月14日(水)～27日(火)の期間、休園とします。



古民家ゾーン ご利用案内

- ◎開館時間 : 9:00～17:00
- ◎休館日 : 毎月第1水曜日(祝日の場合はその翌日)
- ◎入館料 : 無料

- ◆ 本郷ふじやま公園運営委員会
〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20
Tel:896-0590 Fax:896-0593
- ◆ 緑政局中部公園緑地事務所
Tel:711-7802 Fax:712-6260